

食育普及啓発キャラバン 楽しく「食」を学ぶ

野菜クイズに元気に手を上げる園児たちと「じゅんきくん」（円内）



11月7日、県主催の令和6年度岩手県食育普及啓発キャラバンが葛巻保育園で行われ、同園の年長児と年中児20人が参加しました。

県栄養士会による野菜の名前当てクイズが始まると、園児たちは大きく手を上げ、元気いっぱいの声で野菜の名前を答えていました。その他にも、いわて純情むすめや純情産地いわてPRキャラクターの「じゅんきくん」らも登場し、一緒に食育ダンスを踊るなど、園児たちは楽しく「食」について学びました。

ベジメータで野菜摂取量測定 野菜足りていますか？

11月15日、町食生活改善推進員が葛巻病院で食生活の改善を呼びかけました。この活動は指先で野菜摂取量を測定できるベジメータを活用し、11月12日から18日までくずま〜るや葛巻病院などで行われ、6日間で370人が測定を行いました。

測定を行った佐々木勝子さん（泉田）は「野菜が足りていないことが分かった。長生きのために頑張って野菜を摂ります」と話し、食生活を見直すきっかけになった様子でした。



ベジメータの結果を説明する食生活改善推進員と測定の様子（円内）



始まっています！

認知症を支える地域づくり くずまきおれんじカフェ

認知症サポーターとは？

認知症に対する正しい知識と理解を持って、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする人

町では認知症サポーターがチームとなり、地域で暮らす認知症の人やその家族の生活面の支援ニーズに、早期から対応できる取り組みを推進しています。



チームおれんじの設立を目指して

町では令和7年度の「チームおれんじ」設立に向け、認知症サポーター養成講座を実施するなど、認知症に理解のあるサポーターを増やし、おれんじカフェを開催するなど、認知症の人とその家族を支援する体制づくりを行っています。

チームおれんじは、地域で把握した認知症の人の悩みやその家族の身近な生活支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ取り組みを行います。この活動には認知症サポーターだけでなく認知症である本人もメンバーの一員として活動するのが特徴です。



おれんじカフェってなあに？

町内にも認知症かどうかに関わらず、地域の皆さんが気軽に集まってホッとひと息できる場所、あそこに行けば誰かに会って話ができるという場所をつくりたいと考え、9月から「くずまきおれんじカフェ」を開催しています。町の保健師や地域の認知症サポーターの皆さんを中心に運営をしており、現在は月1回で開催しています。



運営にあたっての話し合い



オレンジリングを持っていますか？

過去に認知症サポーター養成講座を受講したことがあり、「オレンジリング」を持っている人は、認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を応援するサポーターです。

皆さんもチームおれんじの一員として一緒に活動してみませんか。



次回の くずまき おれんじカフェ

- ▶日時 12月23日（月）10時～12時
- ▶場所 くずま〜る1階 ふり〜じゅ

1月以降の開催について、日時や場所はチラシやくずまきテレビ、ライフビジョンでお知らせします。

岡町地域包括支援センター☎65-8992



広報くずまき・2024（令和6）年12月1日〔18〕



11月20日の幼児歯科健診で「虫歯ゼロ」のお友達です。



ひなた
馬場 陽大 くん
（3歳・五日市）



たまき
橋場 環 ちゃん
（6歳・小田）



さら
星野 紗咲 ちゃん
（6歳・茶屋場）



いっさ
折元 生咲 ちゃん
（6歳・四日市）



いっさ
野里 一颯 くん
（6歳・新町）



いっさ
野里 一翔 くん
（6歳・新町）